

4. 椎名町駅周辺の街づくり

椎名町駅周辺では、放置自転車や狭あいな駅前広場、近接する開かずの踏切、老朽化しバリアフリー化していない駅舎など、多くの課題を有していました。平成6年には地元町会を中心に発足した「椎名町駅周辺を考える会」から様々な提案がなされ、環状6号線(山手通り)の拡幅整備事業による椎名橋の架け替え工事を契機に、この高架下の空間を活用した街づくりの機運が一層高まりました。

豊島区では、駅周辺の町会や商店会を加えて拡充した「椎名町駅周辺を考える会」との協議を進め、東長崎と同様の「駅・まち一体改善事業」を活用した、駅舎の改良（バリアフリー化）と自由通路・駅前前広場を実施するとともに、椎名橋高架下空間の利活用を進める総合的な整備事業を実施しています。

平成22年度に自転車駐車場整備、平成24年度に椎名町駅の改良と南北間の自由通路整備、椎名橋高架下空間での広場整備が完了しました。

街づくりに関する経緯は次のとおりです。

- 平成6年5月 「椎名町駅周辺を考える会」が発足
区長へ「椎名町陸橋下有効利用の要望書」提出
- 平成6年6月 東京都へ「豊島区椎名町駅周辺地域の環境整備の促進に関する請願」提出
区議会へ「椎名町陸橋下有効利用の請願」提出
- 平成7年6月 東京都が「椎名町陸橋下有効利用の意向調査」実施
- 平成14年9月 環状6号線椎名町陸橋周辺説明会の開催
- 平成16年6月 区議会へ「西武池袋線・池袋9号踏切の地下自由通路早期実現に関する請願」提出
- 平成19年10月 「椎名町駅周辺整備に関するアンケート調査」の実施
- 平成20年2月 「椎名町駅周辺を考える会」にアンケート調査内容報告
- 平成20年12月 「椎名町駅周辺整備計画案地元説明会」開催
- 平成21年11月 椎名町駅南北自由通路新設及び駅前広場整備に係る工事に関する協定の締結
- 平成21年12月 椎名町駅・まち一体改善事業工事説明会の開催
- 平成23年3月 椎名橋下自転車駐車場整備完了
- 平成23年6月 椎名町橋上駅舎整備完了
- 平成24年12月 南北自由通路整備完了
- 平成25年3月 椎名橋高架下広場整備完了・事業完了

椎名町駅周辺の整備概要

- ① 駅 舎
 - ア. 改 札：橋上駅舎へ改築
 - イ. ホ ーム：10両編成対応に延長
(緊急時対応)
 - ウ. 駅 構 内：エスカレーター(2基)
エレベーター(2基)
- ② 自由通路
 - ア. 通 路：幅5m
 - イ. エスカレーター(2基) エレベーター(2基)
- ③ 駅前広場、駐輪場：約3,500㎡

図表 2-5-5 完成写真(北口)



5. 池袋駅及び駅周辺整備(東西デッキ等)

池袋駅周辺では、鉄道線路で分断された街を一体化し、歩行者の回遊性の向上や街の広がりを出創するため、鉄道線路上空を活用した構想が数多く提案されてきました。平成3年度には、国、都 JR 東日本、区の4者による「池袋地区複合空間基盤施設整備計画策定事業調査」を発足し、デッキ広場の整備に向けた関係者との協議を開始するとともに、地域の主催によるシンポジウムが開催されるなど、実現に向けて機運が高まりましたが、関係者の合意に至らずそれ以上の進展が見られませんでした。

現在の池袋駅は、JR 東日本をはじめ4社8線の鉄道路線が乗り入れ、国内屈指の乗降客数を有する巨大ターミナルですが、平成20年に地下鉄副都心線が開通し、現在は東急東横線と相互に乗り入れるなどにより、通過駅になってしまうという危機感が高まっています。また、増改築を繰り返してきた駅関連施設は、耐震性はもとより防火・避難などの災害時の安全性やバリアフリー対応、乗換えに伴う慢性的な混雑など多くの課題を抱えています。新宿、渋谷など沿線地域間の競争が激化していく状況下で、池袋副都心の核である池袋駅及び駅周辺地域では、さらなる魅力向上と活性化が強く求められています。

平成19年度には鉄道事業者、近接大型商業事業者などから構成される「池袋駅及び駅周辺整備検討委員会」を設立し、都市機能の更新、歩行者空間の回遊性や安全性の向上などの都市再生を推進する方策について調査・検討を重ねたことにより、池袋駅周辺地区における長期的な整備構想を示す「整備計画(案)(平成20年度)」、東西デッキの整備に関する基本的な方向性を示す「東西連絡通路(東西デッキ)整備基本構想(平成26年度)」を策定しました。

その後、平成27年7月に、池袋駅周辺地域が特定都市再生緊急整備地域に指定されたことを契機として、検討組織を「池袋駅周辺地域再生委員会」に改め、公民連携によるまちづくりの指針となる「池袋駅周辺地域まちづくりガイドライン」(平成28年度)をとりまとめました。今後は、このガイドラインに基づき公共と民間との協力の基、一体的・効率的な都市再生事業を推進していきます。

現在、周辺都市開発の動向に合わせた「東西連絡デッキ(びっくりガード上空デッキ)整備事業」、2020年東京オリンピック・パラリンピックを目標とした地下街等の防災性の向上を図る「地下街防災推進事業」、わかりやすく使いやすい池袋駅の実現を目指す「池袋駅地区案内サイン整備事業」に取り組んでいます。

まちづくりに関する取り組みは次のとおりです。

昭和57年11月	豊島区基本計画に「東西デッキ構想」建設を明記、国鉄に協力依頼
昭和58年12月	豊島区議会で「東西デッキ設置の請願」を採択
昭和62年3月	日本都市計画学会が池袋副都心協議会の依頼を受け「池袋ルネッサンス構想」を提言
平成元年4月	メトロポリタンプラザビル建設に伴う高架通路(ペDESTリアンデッキ)設置について協定締結
平成2年度	「池袋地区複合空間基盤整備計画策定事業調査」を実施
平成2年7月	豊島区議会で「東西上空自由通路早期実現の請願」を採択
平成3年6月	「池袋地区複合空間基盤整備計画策定事業連絡協議会」を発足
平成3年10月	東京商工会議所豊島支部主催シンポジウム「池袋東西デッキ広場実現に向けて」を開催
平成4年7月	東京商工会議所豊島支部内に「池袋東西デッキ広場構想推進懇談会」を設立
平成8年9月	東京都議会に「池袋橋上駅東側通路の設置に関する請願」を提出
平成19年7月	「池袋駅及び駅周辺整備検討委員会」を発足

平成 21 年 3 月	「池袋駅及び駅周辺整備計画(案)」を策定 豊島区主催公開シンポジウム「池袋から変わる!?駅とまちとの素敵なカンケイ」を開催
平成 23 年 4 月	「池袋駅地区バリアフリー基本構想」を策定
平成 26 年 4 月	「池袋駅地区バリアフリー基本構想【エリア拡大編】」を策定
平成 27 年 3 月	「池袋駅東西連絡通路(東西デッキ)整備基本構想」を策定
平成 27 年 7 月	「特定都市再生緊急整備地域」に指定 「池袋駅周辺地域再生委員会」を発足
平成 28 年 7 月	「池袋駅周辺地域まちづくりガイドライン」を策定
平成 28 年 10 月	「池袋駅周辺地下街等防災推進計画」を策定

図表 2-5-6 東西デッキ整備のイメージ



現在進められている整備事業概要は次の通りです。

東西連絡デッキ（南デッキ）整備事業

事業個所	特別区道 12-680（びっくりガード）上空
施設規模	約 600 m ²
施工期間	平成 29～31 年度

地下街防災推進事業

事業個所	池袋駅周辺地下街
事業内容	天井点検・補強、非常用発電機更新 他
施工期間	平成 27～31 年度

案内誘導サイン整備事業

事業個所	池袋駅周辺地下空間及び東西駅前広場
事業内容	案内誘導サインの統一整備 他
施工期間	平成 29～31 年度

6. 池袋西口駅前街区まちづくり推進事業

池袋駅西口地区は老朽化した建物が多く、敷地も細分化され、まちのにぎわいや魅力を生み出しにくくなっています。昭和60年には再開発構想が地元から提案され、早急な整備の必要性が示されましたが、現に至っていません。

平成23年3月に発生した東日本大震災では、池袋駅などの構内、池袋西口公園などに多くの帰宅困難者が発生するとともに、西口駅前街区の老朽化した多くの建物では、建物本体が破損するなどの被害を受けました。

また、平成25年3月の地下鉄副都心線と東急東横線の相互直通運転開始などから、都市間競争が激しさを増す中で、池袋駅西口地区の都市再生が強く求められています。平成27年7月には、地元・地権者等との協働により池袋駅西口地区のまちづくり基本構想案を策定し、当地区がめざすまちづくりのコンセプトとして「つながるまち」が示されました。

平成27年12月には池袋駅西口地区市街地再開発準備組合が設立され、再開発事業の事業化の検討が進められています。

(1) 対象地域(平成29年4月時点)

① 面積

・宅地面積（鉄道用地含む）	約 1.6ha
・道路面積	約 2.7ha
・公園面積	約 0.3ha
<u>合計面積</u>	<u>約 4.6ha</u>

② 権利者数

・土地所有者	61名
・建物所有者	31名
<u>合計</u>	<u>92名</u>
(共有者も1名としています)	

図表 2-5-7 池袋駅西口地区市街地再開発準備組合 事業地区



(2) 経緯

①まちづくり協議会

平成19年12月～平成21年2月	まちづくり勉強会7回開催
平成21年7月	池袋駅西口地区まちづくり協議会設立(加入率約6割) (当初の対象地域：G・I・Jブロック)
平成22年6月	協議会対象地域拡大(Hブロック編入)
平成22年8月	まちづくりワークショップの開催
平成23年2月	まちづくり懇談会の開催
平成23年6月	まちづくり講演会の開催
平成23年9月	歩行者交通量・テナント状況調査等の実施
平成24年3月	まちづくり方針(素案)の作成
平成25年3月	まちづくり構想(素案)の作成
平成25年11月	まちづくり協力者(三菱地所株)の選定
平成26年1月	ブロック別まちづくり懇談会の開催
平成26年9～12月	池袋西口の未来をデザインする会の開催
平成27年3月	協議会対象地域拡大(Kブロック編入)
平成27年7月	まちづくり基本構想案(Kブロック含む)の作成
平成27年12月	まちづくり協議会の解散

②市街地再開発準備組合

平成27年12月	市街地再開発準備組合の設立
平成28年4月	事業協力者(三菱地所株・三菱地所レジデンス株)・総合コンサルの選定
平成29年4月	基本構想案の策定・事業区域の変更(エソラ街区編入)

(3) 今後の予定

市街地再開発準備組合の事業化の検討と連携して、平成29年度に策定予定の池袋駅周辺地域基盤整備方針の調整を行い、当地区に求められる機能を整理します。

- ① 準備組合への助言、指導
- ② 池袋駅周辺地域基盤整備方針との調整